

第181期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日



帝国ホテル

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申しあげます。

ここに当社第181期中間期（2021年4月1日より2021年9月30日まで）の報告書をお届けし、当社グループの営業の概況についてご報告いたします。

さて、当中間期は新型コロナウイルス感染防止策を最優先に、お客様の利用回復に向けた様々な販売施策を展開してまいりましたが、緊急事態宣言が長期間続いたことにより業績の回復には至らず、中間配当につきましては誠に遺憾ではございますが、前期に引き続き無配とさせていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申しあげます。

ホテル・観光業界の今後の見通しは未だ不透明な状況が続いておりますが、当社では昨年より休業していたフランス料理「ラブラスリー」のリニューアルオープンや初の直営日本料理店「帝国ホテル 寅黒」の開店、さらにホテルショップ「ガルガンチュワ」は売場面積を拡張し、デリカテッセンやパストリー、焼き菓子等、テーマごとに3つのエリアに分けるなど、新たな施策や事業を展開しながらサービスの向上と収益の拡大に積極的に取り組んでおります。

また、本年3月と5月にそれぞれ発表いたしました「帝国ホテル東京建て替え計画の実施方針」と「京都での新規ホテル計画の実施」につきましては、次の150周年に向けた当社の重要なプロジェクトであり、将来の企業価値の向上と新たな成長を目指し、今後もグループ一丸となって両計画を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 さだ やす ひで や 定保 英弥

目次

1
株主の皆様へ

2~3
営業の概況

4
中間連結財務諸表

5
Topics

6
会社情報

営業の概況 (文中の増減率は、全て前年同期比で記載しております。)

当中間期の日本経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種の促進や政府による各種経済対策により、一部の業種で改善の兆しもありましたが、総じて厳しい状況が続きました。

ホテル・観光業界におきましては、渡航制限や都道府県を越える移動の自粛要請などから宿泊需要は回復せず、イベントや会合の自粛に伴い宴会利用も低い水準に留まるなど過酷な経営環境が続きました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、政府及び自治体の方針に則った各種感染防止策を徹底するほか、6月からワクチンの職域接種を従業員とその家族並びにテナントスタッフを対象に実施し、従業員の安全と安心の確保はもとより、お客様に安心してホテルをご利用いただけるよう環境の整備に努めてまいりました。

営業面につきましては、外出自粛により高まる巣ごもり需要に対応したオンラインショップの拡充や、「新しいホテルの価値」を提供するサービスアパートメント事業を本年3月より開始するなど、国内顧客の利用回復に向け積極的に新規施策への取り組みを進めてまいりました。

また、東京オリンピック・パラリンピック期間中の各国賓客や大会関係者の受け入れにあたっては、感染防止に万全の体制で臨むべく大会組織委員会と密接に連携を図り、国家的行事を支える役割を無事に果たすことができました。

経費面におきましては、従業員食堂を自営化するなど、業務委託の見直しや全社的なコストの削減に加え、政府の各種支援策を最大限活用することにより、収益の確保と雇用の維持にグループ一丸となって注力してまいりました。

以上の結果、帝国ホテル本社の売上高は43.3%増の9,635百万円、帝国ホテル大阪の売上高は36.0%増の1,759百万円、上高地帝国ホテルの売上高は92.7%増の734百万円、その他事業所を含めた当中間期における当社グループの売上高は43.7%増の12,290百万円となりましたが、経常損失は3,820百万円、親会社株主に帰属する中間純損失は3,810百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、政府による各種経済対策に加え、ワクチン接種のさらなる進展や治療薬開発などに伴う経済活動の再開に期待感があるものの、新型コロナウイルスの感染状況は予断を許さず、ホテル・観光業界は訪日外国人客の回復に未だ時間を要するなど、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと当社グループにおきましては、フランス料理「ラ ブラスリー」を1983年オープン当時のコンセプトに立ち返りリニューアルオープンするとともに、新規事業として新たな価値創造に向け「神楽坂 石かわ」グループとのアライアンスにより当社初となる直営日本料理店「帝国ホテル 寅黒」を開店し、両店舗によるフランス料理と日本料理をワインなどと気軽に楽しめる“ホテルバル”という新しいサービスを提案いたしました。

加えて、今後も販売の拡大が見込めるホテルショップ「ガルガンチュワ」を帝国ホテルタワー館1階に移設し売場面積を2倍強に拡充したほか、帝国ホテル大阪においてはインペリアルフロアやスイートご利用の宿泊者専用ラウンジ「インペリアルフロア ラウンジ」を新設するなど、コロナ収束後を見据えた新たな挑戦に積極的に取り組んでまいります。

また、SDGs(持続可能な開発目標)への対応としては「サステナビリティ推進委員会」を中心に、食品ロスやプラスチック使用量並びにCO₂排出量の削減など、各種環境対策を全社的に推進するとともに、女性活躍等ダイバーシティの推進に努めるなど、事業活動を通じ持続可能な成長と社会的課題の解決に取り組んでまいります。



帝国ホテル 東京



帝国ホテル 大阪



上高地帝国ホテル

中間連結財務諸表 (要旨)

中間連結貸借対照表

(百万円)

科目	当中間期末 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	31,979	36,304
固定資産	28,697	29,116
有形固定資産	15,685	16,412
無形固定資産	1,229	1,062
投資その他の資産	11,782	11,641
資産合計	60,677	65,420
(負債の部)		
流動負債	4,024	4,706
固定負債	14,411	14,641
負債合計	18,436	19,347
(純資産の部)		
株主資本	41,489	45,537
その他の包括利益累計額	751	536
純資産合計	42,240	46,073
負債及び純資産合計	60,677	65,420

(注)記載金額は百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(百万円)

科目	当中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前中間期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	12,290	8,553
材料費	2,482	1,319
販売費及び一般管理費	15,271	13,938
営業損失	△5,462	△6,704
営業外収益	1,648	2,135
営業外費用	6	—
経常損失	△3,820	△4,569
税金等調整前中間純損失	△3,820	△4,569
法人税等	△9	2,952
中間純損失	△3,810	△7,521
親会社株主に帰属する中間純損失	△3,810	△7,521

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	当中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前中間期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,523	△5,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△575	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237	△473
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,335	△6,075
現金及び現金同等物の期首残高	28,651	37,231
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,315	31,155

TOPICS

フランス料理「ラ ブラスリー」を リニューアルオープンするとともに 日本料理「帝国ホテル 寅黒」を新規開店。

帝国ホテル東京は、昨年4月から休業していたフランス料理「ラ ブラスリー」と新店舗日本料理「帝国ホテル 寅黒」の営業を2021年11月1日より開始いたしました。

La Brasserie

新生「ラ ブラスリー」は、“本場パリのブラスリーのような気取らない雰囲気の中で心ゆくまで料理とワインをお楽しみいただく”という1983年オープン当時のコンセプトに立ち返り、東京料理長 杉本 雄プロデュースにより、食材本来の魅力が詰まった料理やサステナブルな一皿などメニューを一新しました。



帝国ホテル 寅黒

「帝国ホテル 寅黒」は、現代の日本料理を代表する名店「神楽坂 石かわ」を率いる石かわグループと帝国ホテルがアライアンスを組むことで実現した、直営の日本料理店です。

世紀を超えてフランス料理文化を築いてきた帝国ホテルが、新たな日本料理の世界をお届けいたします。



ホテルバル

「ラ ブラスリー」、「帝国ホテル 寅黒」にそれぞれバルエリアを併設。帝国ホテルのフランス料理と石かわグループの日本料理をワインやシャンパン、日本酒とともにシームレスにお楽しみいただける新しいスポットが誕生しました。

ご予約・お問合せ

フランス料理「ラ ブラスリー」 TEL 03-3539-8073
日本料理「帝国ホテル 寅黒」 TEL 03-3539-8224

会社情報 (2021年9月30日現在)

会社の概要

商号	株式会社帝国ホテル Imperial Hotel,Ltd.
住所	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
設立年月日	1887年12月10日
開業年月日	1890年11月3日
資本金	14億8千5百万円
主要な事業所	帝国ホテル本社(東京都千代田区) 帝国ホテル大阪(大阪府大阪市) 上高地帝国ホテル(長野県松本市) ザ・クレストホテル柏(千葉県柏市)
ホームページアドレス	https://www.imperialhotel.co.jp

株式の状況

発行可能株式総数	192,000,000株
発行済株式総数	59,400,000株 (自己株式 62,956株を含む)
株主数	5,149名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数
三井不動産株式会社	19,700千株
アサヒビール株式会社	3,408
株式会社大和証券グループ本社	3,045
株式会社みずほ銀行	2,952
日本生命保険相互会社	2,918
富国生命保険相互会社	2,654
サッポロビール株式会社	2,500
清水建設株式会社	2,500
第一生命保険株式会社	2,338
鹿島建設株式会社	2,300

(注)持株数の千株未満は切捨てて表示しております。

取締役及び監査役

代表取締役社長	社長執行役員	定保英弥
代表取締役常務	常務執行役員	徳丸淳
常務取締役	常務執行役員	金澤陸生 風間淳
取締役	常務執行役員	秋山智史 筒井義信 斎藤勝利 上條努
		日比野隆司 小野澤康夫 小路明善
		幸田雅弘 金尾幸生
		古谷厚史 今井徹
常勤監査役		宮新朋明 中山こずゑ
監査役		仲浩史 石神裕之

執行役員

加藤俊也 松田喜則 高橋義幸

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	上場取引所	株式会社東京証券取引所 市場第二部
定時株主総会	6月下旬	公告の方法	電子公告の方法により行います。 (https://www.imperialhotel.co.jp)
剰余金の配当の 基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日		ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部		

株式に関するお手続きについて

1. 証券会社でお取引をされている株主様

	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ○単元未満株式の買取請求 ○届出の住所変更等 ○配当金の受領方法・振込先のご変更 	口座を開設されている証券会社
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人：みずほ信託銀行株式会社 (下記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います)


2. 特別口座に記録されている株式をお持ちの株主様

当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

ホームページ：<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>

フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)





帝国ホテルはSDGs(持続可能な開発目標)を支援しています。



エコマーク認定
帝国ホテル
Eco Mark certification
Imperial Hotel



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

